

農

林

農 業 振 興
農 業 農 村 整 備
林 業
公 設 地 方 卸 売 市 場



農 業 振 興 (農政課)

1 農業振興計画

(1) 農業振興地域整備計画管理

山形農業振興地域整備計画（昭和47年7月20日告示）について、農用地利用計画の変更を主に、必要な措置を講じた。

① 令和3年度分農用地利用計画の変更

- ・農用地区域からの除外 8件 66,862.74㎡
- ・用途区分の変更 3件 5,622.00㎡

② 農用地区域の確認証明 取扱件数 46件 (260筆)

③ 農用地利用計画の状況 (令和4年3月末現在)

(単位: ha)

現況地目	田	畑	樹園地	採草放牧地	混牧林地	農業用施設用地	山林・原野	計
面積	3,860.6	249.0	987.5	0	0	17.6	152.9	5,267.6

(2) 地域指定等

- ① 農業振興地域の指定 (昭和47年3月31日)
農業振興地域面積 13,133ha
- ② 振興山村地域の指定 (昭和47年2月3日)
- ③ 村山広域営農団地整備計画 (昭和50年3月31日県告示)

2 担い手育成支援事業

(1) 山形市青年農業士制度

若い農業者の模範となり、農業経営を意欲的に実践し、将来にわたり農業で自立を志向する者を市長が「青年農業士」として認定し、農業者の社会的評価を高めるとともに、地域農業のリーダーとなる人材を育成し、自主的な組織活動の促進と農業の担い手育成確保に資する目的で、昭和53年度に制度を制定した。

(昭和56年4月13日に、組織活動のより一層の促進を図るため、これまでの25歳から30歳までの活動期間を、25歳から35歳までに改正、更に昭和62年4月10日、同活動期間をおおむね25歳から40歳までに改正した。平成15年6月2日、市内の二農協組合長に加え、農業委員も推薦できるよう改正した。また、平成17年5月16日、これまでのおおむね25歳から40歳までの活動期間を、20歳から40歳までに改正した。さらに、平成30年4月1日には、20歳から40歳までの活動期間を、20歳から45歳までに改正した。)

- ・認定者数 50人 (令和4年3月末現在)
- ・山形市青年農業士会発足 昭和54年12月18日

(2) 認定農業者の認定

経営感覚に優れた農業経営体を育成するため、農業経営基盤強化促進法に基づき認定農業者の認定を行い、令和4年3月末時点で388経営体になった。

	合計	1回目	2回目
認定審査会	2回	R3.8.20	R4.1.27
認定日	2回	R3.8.30	R4.2.6
新規認定者	21経営体	8経営体	9経営体
再認定者	95経営体	55経営体	27経営体
総数	388経営体	396経営体	388経営体

(3) 認定農業者経営改善計画支援事

認定農業者の農業経営改善計画を支援するため、認定農業者が整備する農業生産施設、農業用機械及び機械のオーバーホールに対して補助金を交付した。

(令和3年度実績)

事業主体	事業内容	件	事業費(千円)	補助金(千円)
認定農業者 50名	農業生産施設	3	4,116	1,233
	農業用機械	41	108,103	25,529
	オーバーホール	9	5,850	1,434
	計	53	118,069	28,196

(4) 認定農業者研修会等の開催

各種研修会を開催し、資質の向上を図った。

認定農業者制度研修会	9月、2月
------------	-------



(5) 認定農業者情報誌の発行

情報誌を年6回発行し、認定農業者への情報提供を図った。

「えいのうキング」の発行	5月、8月、9月、10月、11月、1月
--------------	---------------------

(6) 認定農業者組織への助成

組織活動の支援として、19地区の認定農業者組織に対して助成を行った。

補助金額 682千円（令和3年度実績）

交付地区	明治、蔵王、千歳、楯山、南沼原、村木沢、金井、南山形、鈴川、出羽、旧市、大郷、飯塚、大曾根、西山形、本沢、樫沢、山寺、高瀬
------	---

(7) 農業後継者及び認定農業者育成支援事業貸付金の貸付

貸付原資	原資貸付先	原資貸付金利	貸付条件
20,000千円	山形市農業協同組合	年利0%	おおむね20歳から40歳までの 農業後継者及び認定農業者 貸付限度額 5,000千円 期間 10年以内 金利 年利1%
30,000千円	山形農業協同組合		

・令和2年度 貸付状況 件数0件 貸付額 0千円 年度末融資残高合計額 468千円

(8) 「人・農地プラン」の充実に向けた取組

高齢化や後継者不足の進行が進む中、誰が将来にわたり農地を耕作していくのか「人と農地の問題」の解決に向け、令和2年度各地区の話し合いに基づいて作成した「人・農地プラン」について、中心経営体や地区の課題について話し合いの中で見直しを行い、農業関係機関や農業者の代表で構成する検討会を開催し、「人・農地プラン」を更新した。

・検討会開催回数 1回（令和3年度実績）

作成地区	明治、蔵王、千歳、南沼原、村木沢、金井、南山形、鈴川、出羽、旧市、大郷、大曾根、西山形、本沢、滝山、東沢、飯塚・樫沢、楯山・山寺・高瀬
------	---

(9) 新規就農支援事業

就農初期における負担の軽減を図るため、市内で就農した新規就農者の農地賃借料及び機械の導入に対して助成した。また、令和3年度から施設及び付帯設備の修繕に係る費用について助成した。

① 農地賃借料補助

- ・対象者 就農から3年以内の新規就農者2人
- ・補助額 基準額に賃借面積に乗じて得た額と実際賃借料のいずれか少ない額
- ・補助金額 111千円（令和3年度実績）

② 機械・施設導入補助

- ・対象者 就農から3年以内の新規就農者3人
- ・補助額 事業費の3/10以内の額
- ・補助金額 477千円（令和3年度実績）（事業費：1,604千円）

③ 住宅家賃補助

- ・対象者 新規就農市外からの転入者
- ・補助額 住宅家賃の1/2以内の額
令和3年度要望者なし

④ 施設及び付帯設備修繕補助

- ・対象者 就農から5年以内の新規就農者1人
- ・補助額 事業費の3/10以内の額
- ・補助金額 384千円（令和3年度実績）

⑤ 新規就農者受入協議会等支援事業

- ・対象者 支援対象区域を「山形市」と定めている新規就農者受入協議会等
- ・補助額 補助対象経費以内の額
- ・補助金額 533千円（令和3年度実績）（事業費：664千円）

(10) 農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）

青年層の新規就農者確保と就農後の定着を図るため、経営が不安定な経営開始直後の新規就農者に対し給付金を給付した。

- ・給付人数 11人
- ・給付金額 18,000千円（令和3年度実績）
（750千円×3人、1,500千円×3人、2,250千円×5人）

(11) 子どもたちの農業・農村体験学習推進事業

市内小学3年生を対象に、社会科の参考資料として農業資料集「さなえ・みのるの山形市農業たんけん隊」を作成・配付し、農業への理解を深めた。(2,300部)

(12) 農地中間管理機構集積協力金交付事業

農地中間管理機構協力金交付事業

農業の競争力・体質強化を図るため、農地中間管理機構を通して農地の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積に協力した者及び地区に対し、協力金を交付し、農地の集積・集約化を図った。

令和3年度実績

協力金名称	件数	対象面積	金額
経営転換協力金	48件	18.76ha	2,814,000円
地域集積協力金	- 件	- ha	- 円
計	48件	18.76ha	2,814,000円

3 農業の生産と流通

(1) 稲作

令和3年度の水稲作付面積は2,460haで、前年度から123ha増加した。

村山地帯の作況指数は104でやや良となった。県内他地帯においては庄内が105、置賜が103、最上が103で、山形県全体では104のやや良となった。

水稲作付面積の増加や10a当たりの収量の増加により、収穫量については16,300tと前年に比べ100tの減少となった。

山形市水稲生産量の推移

年次	水稲作付面積 ha	10a当たり 収量 kg	収穫量 トン	作況指数
平成 2	3,750	585	21,900	97
3	3,680	573	21,100	95
4	3,580	578	20,740	96
5	3,680	532	19,600	88
6	3,670	653	24,000	108
7	3,410	566	19,300	94
8	3,060	624	19,100	104
9	3,020	634	19,100	106
10	2,730	622	17,000	104
11	2,680	612	16,400	104
12	2,680	642	17,200	105
13	2,590	641	16,600	102
14	2,590	631	16,300	101
15	2,560	588	15,100	92
16	2,580	635	16,400	101
17	2,590	660	17,100	101
18	2,580	637	16,400	101
19	2,490	636	15,800	102
20	2,460	672	16,500	105
21	2,450	654	16,000	102
22	2,460	653	16,100	101
23	2,420	642	15,500	102
24	2,420	628	15,200	101
25	2,510	673	16,900	105
26	2,490	674	16,800	105
27	2,410	657	15,800	103
28	2,410	650	15,700	103
29	2,420	648	15,700	100
30	2,390	625	14,900	96
令和元 2	2,440	668	16,300	105
2	2,337	667	16,400	104
3	2,460	664	16,300	104

(出典：東北農政局)



① 農地集約化・本作物支援事業

平成30年度の国の米政策の転換に合わせて、地域の作物戦略、販売戦略、水田の利用、担い手の育成等将来の山形市の農業の方向性を明記した新たな「山形市地域水田農業ビジョン」に基づき、水田農業の構造改革を推進することにより、地域全体で水田の有効利用に取り組むための諸対策を行う。

令和3年度水田農業構造改革対策実績表

米の生産の目安	水稲作付面積目標	水稲作付実施面積	達成率	一般作物	永年性作物	特定作物	調整水田その他
t	ha	ha	%	ha	ha	ha	ha
15,453	2,395.0	2,354.0	101.7	524.2	8.6	150.5	1,144.7

ア 転作営農指導の強化対策

転作の定着化を図るため、各農協における営農指導の強化と農協指導事業の強化に対し助成措置を講じた。

- ・地域営農推進事業費補助金 10,000千円（令和3年度実績）

イ 転換作物作付拡大支援事業

水田のフル活用を図り耕作放棄地の防止し、水田の維持保全を図るため、生産の目安に基づき、水稲の生産を行う農業者に対し助成を行った。

- ・対象面積 8,209,202㎡
- ・補助金合計 24,628千円（令和3年度実績）

ウ 土地利用型作物作付促進事業

水田のフル活用を図り、土地利用型作物への転換を推進し作物の品質向上と生産の拡大及び需要に応じた米の生産の推進を図るため、団地を形成して土地利用型作物の作付の本作物化を目指す生産組織及び法人に対し、助成を行った。

令和3年度実績

種別	実施面積 (収穫量)	面積基準補助単価 収穫量基準補助単価	補助金額 (千円)
そば	219.70ha (107,489kg)	10,500円/10a（法人加算2,500円） 400円/kg	66,408
大豆	185.86ha (409,370kg)	10,500円/10a（法人加算2,500円） 60円/kg	45,228
麦	45.88ha (119,261kg)	10,500円/10a（法人加算2,500円） 60円/kg	12,783
枝豆	8.85ha	10,500円/10a（法人加算2,500円）	1,046
計	460.29ha		125,465

エ 地域水田農業組織育成事業

「地域水田農業ビジョン」実現のため、各地区の組織育成の体制整備等に対して助成を行った。

令和3年度実績

区分	数量	補助単価	補助金額（千円）
均等割	344組合	8,000円/組合	2,752
農家数割	5,754戸	500円/戸	2,877
水田面積割	4,180ha	500円/ha	2,090
計			7,719

オ 地域水田農業ビジョン実践支援事業

「山形市地域水田農業ビジョン」実現のため、農業協同組合及び各地区や生産組合が取り組む事業に対して助成を行った。

令和3年度実績

事業数	補助金額（千円）
8件	720

カ 園芸作物産地化推進支援事業

水田における園芸作物の振興及び水田を活用した永年性作物の産地化を推進することにより、水田農業経営の確立を図るため、産地化を目的に選定した下記の作物を作付けした農業者に対して支援を行った。

令和3年度実績

区分	単価(円/10a)	面積 (a)	補助額 (円)	対象農家数
アスパラガス	20,000	0	0	0
啓翁桜	20,000	0	0	0
もも	30,000	0	0	0
ブドウ	30,000	0	0	0
さくらんぼ	30,000	0	0	0
計		0	0	0

キ 農地集約推進活動支援報償金

農地の利用状況の向上を目指し、借り手貸し手の意向を調査するため、農地集約に係る地区活動を行う実行組合に対し謝礼を支払った。

- ・事業実施主体 344実行組合
- ・報償金額合計 3,440千円（令和3年度実績）

ク 農業機械導入支援事業

農地の集約を目指す認定農業者及び農事組合法人や集落営農組織の農業機械導入に対し支援を行った。

- ・事業実施主体 19経営体
- ・補助金額合計 19,054千円（令和3年度実績）

ケ 航空防除機材購入支援事業

山形市航空防除協議会が実施する、水田の一斉防除で使用する無人ヘリコプターの購入費用に対して助成を行った。

- ・補助額 対象経費の3/10
- ・補助金額合計 0千円（令和3年度実績）

コ センシング技術等導入事業

スマート農業の取組を行う農業者のうち、水田のリモートセンシング、撮影、評価、ドローンの操縦免許取得のための講習会参加費用に対して助成した。

(1) センシング技術の導入事業

- ・補助率 1/2
- ・補助金額 0円（令和3年度実績）

(2) 認定オペレーターの資格取得事業

- ・補助率 3/10
- ・補助金額 403千円（令和3年度実績）

サ 米まつりの開催

「第21回山形市農畜産物フェスティバル」において米消費拡大の一環として「第41回山形市米まつり」を同時開催する予定だったが、「第21回山形市農畜産物フェスティバル」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった替りに次の事業を行った。

- ・山形市産「はえぬき」プレゼント
広報やまがた令和4年2月15日号において募集し、抽選で60名に「はえぬき5kg」をプレゼント
- ・「おいしいごはんポスターコンクール」（山形県実施事業）入賞作品の展示
令和4年3月8日から10日、山形市役所1階ピロティ

シ 山形市農業塾の開催

生産コストの低減と農業経営の効率化を図るため、ドローンを活用したセンシング技術や基本となる土づくりを学ぶ場として「山形市農業塾」の開催を準備したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。

- ・助成額 488千円（令和3年度実績）

② 水稲病害虫防除対策事業

ア 水稲病害虫防除対策事業

米の品質低下を防ぐため、斑点米カメムシ類の防除に要する薬剤の掛かり増し経費（実施面積1,885ha）に対し助成を行った。

- ・水稲病害虫防除対策事業費補助金 2,555千円（令和3年度実績）



イ 航空防除安全対策事業

水稻の航空防除事業の円滑な推進及び危被害発生の未然防止を目的とし、安全対策費の一部を助成した。

- ・航空防除安全対策事業費補助金 88千円（令和3年度実績）

ウ 畦畔カメムシ防除対策事業

水田の共同防除の効果を高めるため、畦畔や隣接地の防除を行うことでカメムシの生息密度を下げるため薬剤や散布経費に対して助成した。

- ・補助率 3/10
- ・助成額 486千円（令和3年度実績）

(2) 畑作

本市の気候・土壌条件等から、果樹・野菜・花き・特用作物等は、多岐にわたり栽培され、本市の中核となる重要品目である。水田転作による園芸作物、果樹園地の団地化等を進め、生産組織の育成と近代化を推進する等省力化による栽培体系の改善に努める一方、市場対応としての生産、出荷、組織及び系統出荷体制の育成・整備を推進している。

しかしながら、農作物のブランド化に伴う産地間競争の激化や輸入野菜増大等から、価格の産地間格差が拡大する傾向が強まっている。

このため、生産を長期的に安定させるための計画的集団産地の育成、共同販売体制の確立を図り、青果物の生産・出荷の合理化を推進することはもとより、より一層の山形ブランドのPR推進を図っている。

① 中山間地域農業活性化推進事業

中山間地域等は、国土保全等の公益的機能を有しているが、農業生産条件が不利なため、耕作放棄地の増加が懸念される。そのため、農業生産活動を支援することにより、農地保全を推進するとともに、中山間地域の特性を生かした作物振興、地域振興を図る。

紅花栽培実証展示圃設置事業

市の花である紅花の生産振興と栽培技術の普及拡大のため実証展示圃設置を委託した。

令和3年度実績

事業実施主体	受益面積	事業内容	事業費
高瀬紅花生産組合	140.0a	紅花展示圃の設置委託	千円 545

② 園芸作物振興対策事業

園芸作物の生産基盤の強化や有望品種の導入を推進することにより栽培技術の高度化を図り産地銘柄を確立し、農業者の経営安定を図った。

ア おうとう受粉蜂導入拡大事業

おうとうの開花時期の結実向上を図るため、ミツバチ導入拡大事業に対して助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	受益戸数	事業内容	事業費	県補助	市補助
山形市果樹振興協議会	141戸	受粉蜂導入（249群）	千円 4,109	千円 —	千円 1,185
中野目ハウスさくらんぼ研究会	3戸	受粉蜂導入（10群）	千円 330	千円 —	千円 99

イ おうとう・ぶどう施設修繕支援事業

おうとう及びぶどうの栽培に要するパイプハウス及び雨よけハウスの老朽化による修繕に対する助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	受益戸数	事業内容	事業費	県補助	市補助
市内さくらんぼ農家及びぶどう農家	5戸	雨よけハウス修繕	千円 1,787	千円 —	千円 500

ウ 園芸大規模団地整備支援事業

山形市農業戦略本部で決定された戦略農産物の大規模生産団地の整備及び新規就農者及び研修生受入れに対する助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費	国補助	県補助	市補助
山形農業協同組合	桃栽培用かん水設備、スピードスプレーヤー、乗用草刈機	千円 9,907	千円 4,503	千円 900	千円 1,049

エ 園芸大国やまがた産地育成支援事業

山形市における園芸農業の産出額の拡大、地域を牽引する競争力の高い経営体の育成、消費者や実需者のニーズに

沿った生産流通形態の拡大を図るため、園芸品目の栽培施設整備に対し助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費	県補助	市補助
山形農業協同組合	桃団地防風ネット	千円 27,852	千円 8,528	千円 4,619
全国農業協同組合連合会山形県本部	補強型パイプハウス2棟、養液栽培システム	千円 9,434	千円 2,302	千円 1,151
やまがたハウス園芸研究会	補強型パイプハウス4棟	千円 8,091	千円 2,424	千円 1,212
凍霜害対策会	オイルヒーター36基	千円 684	千円 228	千円 114

オ りんご黒星病緊急特別対策事業

りんご黒星病の被害軽減に向け、山形県病害虫防除基準に新たに追加された防除技術の早期定着を図るため、薬剤による防除の実施について助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費	県補助	市補助
市内農業者団体 (3団体)	薬剤による防除	千円 492	千円 —	千円 219

カ モモせん孔細菌病緊急特別対策事業

モモせん孔細菌病の被害軽減に向け、山形県病害虫防除基準に基づいた防除技術の徹底を図るため、薬剤による防除の実施について助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費	県補助	市補助
市内農業者団体 (1団体)	薬剤による防除	千円 406	千円 —	千円 135

③ 環境保全型農業生産基盤確立事業

環境保全型農業確立支援事業

土づくり技術、化学肥料低減技術等の「持続性の高い農業生産方式」を実践する農業者を支援し、環境保全型農業の推進を図った。

令和3年度実績

事業実施主体	受益戸数	事業内容	事業費	県補助	市補助
市内農業者 (エコファーマー)	1戸	有機質肥料等	千円 30	—	千円 9

(3) 畜産

① 方針

本市の畜産は、野菜、果樹、米等とともに農業の主要部門の一つとして振興が図られており、酪農・肉牛・養豚・養鶏が、米や野菜などの複合経営で営まれている。

平成13年9月に牛海綿状脳症(BSE)の牛が国内で初めて発見されたことをきっかけとして、家畜個体識別システム(耳標装着による生産情報管理)などにより消費者の信頼を回復するための情報提供に努め、安全・安心でおいしい牛肉など畜産物の供給を図る。

あわせて、各関係機関団体と密接な連携のもと、家畜衛生の向上改善と家畜防疫対策を推進するとともに、家畜・畜舎の衛生管理を十分に行う。

受精卵移植等により優良家畜生産を推進し、経営の安定を図るとともに、畜産ヘルパー制度によりゆとりある畜産経営と後継者の育成を図る。さらに「家畜排せつ物管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づき、家畜排せつ物の堆肥化と有効利用を積極的に推進するとともに畜産環境保全整備につとめ畜産の安定的発展を図る。

家畜頭羽数(令和3年2月現在)

(単位:頭、羽)

乳用牛		肉用牛		豚		鶏		めん羊
成牛(2才以上)	育成牛(2才未満)	繁殖	肥育	繁殖	肥育	ブロイラー	採卵	
159	45	17	1,184	14	60	9	971	102

② 畜産物生産振興対策事業

(山形市農政課調べ)

ア 家畜防疫対策事業

家畜の伝染病の予防を図るため、畜産団体が実施する予防注射と法定検査費用の一部を助成した。

・補助金額 172千円(令和3年度実績)



イ 肉用牛生産振興対策事業

肉用牛の生産振興と経営の安定を図るため、山形農協の肉用牛長期平均払事業及び肉用牛経営安定支援事業に対して利子の一部を助成した。

令和3年度実績

(単位：千円)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
金額	1,100	1,094	1,083	792	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	616	487	641	601

ウ 山形市酪農まつり開催事業

消費者と酪農家の交流を通じて、牛乳・乳製品の消費拡大を目的とした「第23回山形市酪農まつり」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止した。

エ 山形市食肉まつり開催事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、一般市民に対しての食肉知識の啓発及び地場産牛肉の消費拡大を目的とした「おうちで食肉まつり」を開催した。

- ・申込開始日 令和3年8月16日(月)
- ・抽選日 令和3年9月2日(木) ・当選者 400名
- ・商品発送日 令和3年9月11日(土)
- ・市負担金 1,457千円

オ 優良家畜生産推進事業

・種母豚導入推進事業

品種の統一と養豚農家の経営安定を図るため、導入費の一部を助成した。

種雌豚 5頭 補助金額 175千円(令和3年度実績)

・乳牛改良人工授精推進事業

優良精液を使った人工授精により乳質改善と酪農家の経営安定を図るため、導入費の一部を助成した。

導入本数 59本 補助金額 295千円(令和3年度実績)

カ 肉用牛肥育経営安定対策事業

と畜料金の増額により肉用牛肥育経営農家の負担が増加したことから、と畜料金の増額分の一部を助成した。

事業主体 山形農業協同組合、有限会社蔵王ファーム、山形アマイ牧場、畜産農家(1戸)

導入頭数 684頭 補助金額 1,454千円(令和3年度実績)

キ 畜産所得向上支援事業

意欲ある畜産経営体等の規模拡大及び生産性の向上、経営の効率化等に対し助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費	県補助	市補助
株式会社石山牧場	堆肥舎改修工事 堆肥運搬車1台	千円 20,127	千円 6,991	千円 1,398

③ 畜産経営安定対策事業

年中無休の畜産農家が、定期休暇の取得により、心身のリフレッシュとゆとりある畜産経営を築くため、山形市畜産振興協議会ヘルパー運営委員会に対し、肉牛・酪農ヘルパー経費の一部を助成した。

実施農家数 13戸 補助金額 2,060千円(令和3年度実績)

(4) 山形市耕作放棄地解消支援事業

市独自に、深耕・整地・営農定着等の再生作業により耕作放棄地を解消し、再生後に耕作を再開する耕作者に補助事業の周知を行った。(令和2年度)

件数(件)	解消面積(ha)	補助金交付額(円)
1	0.3	147,700

(5) 食育・地産地消の推進

「食」の価値と「農」の重要性への理解増進を図りながら、食育と地産地消をより一体的に推進した。

① 食育・地産地消推進ネットワーク会議の開催

食育・地産地消を市民運動として推進するため、市民団体、行政、関係機関が情報交換を行い意識の高揚を図った。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面開催とした。

② 啓発用広報物の作成

「第2次山形市食育・地産地消推進計画」の推進を図るため、リーフレットを作成した。

③ 食育フェアの開催

食への関心を高めてもらう機会を広く市民に提供し食育の推進を図るため、カゴメ株式会社管理栄養士による基調講演を内容としたフェアを開催した。(オンライン開催)

・開催日時 令和3年12月4日(土)

- ・参加者数 100名
 - ・基調講演内容 「食生活改善セミナー～意識を変える、行動も変える～」
- ④ 山形市食育・地産地消推進協議会運営
生産、流通、消費、教育、保健医療等の関係機関及び団体で構成する協議会において、意見交換、研修会、情報発信を行った。（令和3年度は研修会の実施を見送った。）
- ⑤ 学校給食での地産地消の推進
- ア 米飯学校給食促進事業
学校給食において、米の消費拡大を図るため、米飯給食を実施した。
 - イ 学校給食食育・地産地消促進事業
学校給食において、交流給食を実施するとともに、県産の食材を使用したおかず及び県産ヨーグルト並びに、小麦粉パンに替えて地元産米を使用した米粉パンを提供した。
 - ウ 給食お話会の開催
市内産の農産物（ミニトマト、にんじん、じゃがいも、芋煮用里芋）が給食に出される日にあわせ生産者が小学校を訪れ、児童達と交流を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止し、代替として生産者が出演する動画を作成し、各学校へ配布した。
 - エ 芋煮給食用里芋の導入支援
市内産の里芋を芋煮給食に供給するため、県外産との差額補てんを行った。
- ⑥ 地産地消活動の推進
地産地消料理の講習会や地元開催のイベント等に地元産の農畜産物を提供した。
- ⑦ 第21回山形市農畜産物フェスティバルの開催
消費者との交流を通して、農業・農畜産物に対する市民の理解を深め、農畜産物の消費拡大を図るため、関係団体の協力を得て開催する予定であったが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。
- (6) 山形市特産農産物消費宣伝イベント開催事業
新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏及び関西圏における消費宣伝イベントは中止とし、リモートによる市場等との意見交換や動画によるトップセールスを実施した。
負担金 1,869円（令和3年度実績）
- (7) 農産物等販売促進事業
仙台市、福島市との3市連携により、食品・飲料の専門展示会「スーパーマーケットトレードショー2022」への出展を通じ、農産物の販路拡大を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため参加を見送った。
期 日 令和4年2月16日（水）～18日（金）
場 所 千葉県幕張メッセ
- (8) グリーン・ツーリズムの振興
観光農園、直売所、農家レストラン、体験農場を中心とした観光農業の推進を図るため、「山形市グリーン・ツーリズム振興協議会」において、会員マップの作成などによるPR活動を行った。
- (9) 地産地消の店認定事業
地元の農産物を食材として活用する飲食店、旅館、ホテルを「山形市地産地消の店」として認定した。令和3年度は、新規20店舗、更新8店舗を認定し、認定証やPR用の看板やのぼりを作成、配布するとともに、店舗情報を掲載したガイドブックを作成した。
- (10) 花笠まつり用スゲ栽培実証圃設置事業
「山形花笠まつり」用の菅笠を確保する体制の整備について検討した。
- ① スゲ栽培実証展示圃の設置
山形市内におけるスゲの栽培技術の確立を図るため、実証展示圃を設置した。
 - ② 花笠確保対策連絡会の開催
菅笠を山形市独自に確保する仕組みについて、関係者による連絡会を開催し検討した。
- (11) 6次産業化促進支援事業
農業者の6次産業化への関心や意欲を高め、地域資源を活用した商品開発や地場産品の販売促進を行うなどの取り組みに対し支援した。
- ① やまがた6次産業学習塾の開催
6次産業化にかかる知識の習得や経営能力の向上を図るため、農畜産物の加工・販売等の総合産業化や経営戦略の構築等について学ぶ研修会を開催した。
内 容 セミナー
参加者 23名（令和3年度実績）



② 6次産業化ビジネスチャレンジ支援事業

農業者等の6次産業化を図るため、自家生産物を活用した新たな加工品等の開発に対し支援した。

事業実施主体 2 経営体

補助金額 363千円（令和3年度実績）

(12) 山形市農業振興公社業務

本市の農業振興の推進のため、農業振興部門では各種研修事業、青果部門では青果物価格安定事業、事業部門では農作業受託事業及び農作業支援のために農業サポート事業、市全域における水田の無人ヘリコプターによる航空防除事業並びに無人ヘリコプターオペレーター養成事業、そばの刈取り受託事業、耕作放棄地対応のために草刈作業等を実施した。

また、施設部門では農業研修センターの管理運営及び西蔵王放牧場の管理業務を実施した。

出資金 40千円（市 20千円、農協 20千円）

会費 4,465千円（市 3,419千円、農協 1,046千円）（令和3年度実績）

① 農業振興部門

農業従事者をはじめ一般市民に対しての農業研修と体験の場として、また農業者同士や消費者との意見交換の場として、農業研修センターを多目的に活用し研修事業等を実施した。

令和3年度実績

ア 農業サポーター養成講座 農業サポーターを養成するため、5月～12月まで17回開催

イ 漬物講座 山形伝統の青菜漬けとおみ漬けの実習・実演 1回

ウ 手作り味噌講座 麴たっぶり22割・贅沢でおいしい味噌作り 2回

エ 野菜づくり講座 2回

オ 「地元野菜と果実の魅力を学ぼう」講座 野菜ソムリエ上級プロから学ぶ地元野菜の魅力 1回

カ 新春農業講演会（山形市との共催） これからの自立した農業について

② 青果部門

野菜の価格安定事業として、県青果物生産出荷安定基金協会が行っている品目以外の主要12品目（五月菜、セルリー、せり、ししとう、かぼちゃ、キャベツ、せいさい、はくさい、ほうれん草、みず菜、チンゲン菜、小なす）を対象に、あらかじめ設定した対象市場に出荷した平均販売価格が、山形市地方卸売市場における過去5年間の取引価格を保証基準とした価格から下回ったとき（基金果実と生産者補給金負担金及び市からの生産者補給金支援事業補助金を合わせた額を原資として）その差額単価に出荷販売数量を乗じて得た額の10分の8以内の額を予算の範囲内において生産者補給金を交付した。

出荷計画数量 795.5 t

出荷実績数量 456.4 t

対象数量 452.0 t

補給金交付額 5,558千円（令和3年度実績）

交付金額の多い主な品名と交付額（令和3年度実績）

セルリー 4,062千円 ししとう 560千円 ほうれんそう 361千円 はくさい 285千円

③ 事業部門

ア 農作業受託事業

農業者等からの委託を受け、水稲の主な農作業（耕うん、代かき、田植え、稲刈りなど）、そば刈取り等を実施した。

受託金額 8,639千円 受託面積 51.7ha（令和3年度実績）

イ 無人ヘリコプターによる航空防除事業

市航空防除協議会及び各地区防除組合並びに関係機関と緊密な連携のもと、無人ヘリコプターオペレーターの協力得ながら、ヘリコプター9機で防除作業を実施した。

ウ 無人ヘリコプター技術研修と資格取得研修事業

無人ヘリコプターによる航空防除にあたっては、オペレーターの協力と養成が極めて重要でかつ必須であるので、オペレーターの技術研修会及び安全飛行講習会等を実施した。

現在の資格取得者は37名である。

④ 施設部門

ア 山形市農業研修センター管理運営業務

農業研修センターの管理運営業務の実施と農業関係者及び一般市民に対しても開放し、研修会、学習会及び交流会等への利用拡大に努めた。

イ 山形市西蔵王放牧場管理業務

市からの委託を受け、4月2日から11月30日まで放牧場の草地管理や放牧牛の適正な育成管理及び施設の維持管理業務を行った。放牧期間：5月11日～10月26日

(13) 市民農園運営事業

市民の健全な余暇活動を推進し、生産と消費に対する理解の増進を図るため、山形市農業協同組合と山形農業協同組合の協力を得て、農家が開設した農園を「山形市市民農園」として登録した。

8 農園 159区画

(14) 小規模農家支援事業

① 小規模農家農業機械等整備事業費補助金

農業者の減少と高齢化が進む中で、地域農業の重要な役割を担う小規模農家個人、又は、小規模農家2戸以上で組織する共同体に対して、農業生産施設の整備及び農業機械の導入に対して助成し、経済的な負担軽減を図り、農地保全と農業振興を図った。

令和3年度実績

事業内容	件数	事業費(千円)	市補助金(千円)
水稲用機械	2	9,688	1,197
園芸作物用機械及び施設	10	22,282	3,821
計	8	31,970	5,018

② 農地利用促進事業

耕作放棄地の増加を防ぐため、農地中間管理機構においてマッチングされない小区画等の農地において、利用権が成立した際、受け手に対して補助を行った。

- ・対象農地面積 862a
- ・補助金額 862千円(令和3年度実績)

4 市有農業施設

(1) 山形市西藏王放牧場(昭和46年開設)

- ① 所在地 山形市大字土坂515番地
- ② 面積 81.4ha(うち草地48ha)
- ③ 施設の概要 看視舎、病畜舎、避難舎、乾草収納舎、キャトルシャワー、大農具、雑用水施設、その他管理機器
- ④ 利用実績

令和3年度	放牧頭数	期 間	日 数	延 頭 数
	乳用牛16頭			5/11~10/26
肉用牛19頭	1,824頭			

※令和3年度より肉用牛(天童市)を受入れ

(2) 山形市農業研修センター(昭和59年開設)

- ① 所在地 山形市東古館145番地
- ② 施設の概要
 - ア 敷地 10,000㎡
 - イ 建物 1,146.68㎡
 - ウ 研修室、会議室(兼宿泊室)、視聴覚室、講堂兼体育館、食堂、事務室、浴室、管理人室、実験室
 - エ 附帯施設 屋外運動場 3,250㎡ 駐 車 場 100台収容
- ③ 管 理 (一社)山形市農業振興公社
- ④ 利用実績

令和3年度	件 数	延 人 数
	1,763	8,063人

5 農 業 金 融

(1) 農業制度資金貸付状況(令和3年度貸付承認状況)

資 金 の 種 類	件 数	貸 付 承 認 額
農業近代化資金	4 件	17,880千円
農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)	6 件	42,000千円

(2) 農業金融利子補給状況(令和3年度)

資 金 の 種 類	利子補給額	摘 要
農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)	45千円	利息額の117/217~150/250
山形市農業後継者及び認定農業者育成支援貸付金	3千円	利子補給率 1.0%
山形市農林業天災対策資金	3千円	利子補給率 0.85%



農 業 農 村 整 備 (農村整備課)

1 水田畑地化基盤強化対策事業

水田の畑地化を推進し、転作の定着化と生産性の向上を図るための、基盤整備(暗渠排水等)事業に対し補助を行った。

地区名	事業主体	事業量(ha)	事業費(千円)	市補助額(千円)	負担割合
西中野	山形農業協同組合	1.7	42,1000	8,420	国 50% 県 30% 市 20%
村木沢8	農事組合法人 村木沢あじさい営農組合	2.7	19,500	3,900	国 50% 県 30% 市 20%

2 団体営土地改良事業

(1) 団体営土地改良事業

農作物の効率化を図るため、土地改良施設の改修事業等に取り組んだ農業団体に補助を行った。

事業別	件数	事業費(千円)	市補助額(千円)	摘要
土地改良事業	19	78,485	17,243	かんがい排水17件、土砂浚渫2件

(2) 災害復旧事業

令和2年7月27日～29日発生豪雨災害により被災した農業用施設の復旧工事を行った。(令和2年度明許繰越)

事業別	件数	事業費(千円)	摘要
災害復旧事業	3	49,463	国庫補助及び施設管理者負担金により市の持出なし

令和2年7月27日～29日発生豪雨による災害復旧事業に対し補助を行った。(令和2年度明許繰越)

事業別	件数	事業費(千円)	市補助額(千円)	摘要
災害復旧事業	13	25,483	16,719	農地8件、農業用施設5件

3 土地改良施設改修事業

安心安全な飲雑用水を供給するため、営農飲雑用水施設の改修工事を行った。また、市管理農道の除草等を行った。

工種	件数	事業費(千円)	摘要
施設補修等	9	3,994	営農飲雑用水施設修繕、市管理農道除草等

4 多面的機能発揮促進事業

(1) 多面的機能支払交付金

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等で組織し実施する農用地、水路等の基礎的な保全管理(農地維持支払)と地域資源の質的向上を図る共同活動(資源向上支払(共同活動))、施設の長寿命化のための活動(資源向上支払(長寿命化))に対する支援を行った。

① 農地維持支払 (令和3年度実績)

事業主体	支援金交付対象農用地面積 (ha)			支援交付金 (円)			
	田	畑	計	国負担額(1/2)	県負担額(1/4)	市負担額(1/4)	合計
37活動組織	2,647	326	2,973	42,967,400	21,483,700	21,483,700	85,934,800

② 資源向上支払 (共同活動) (令和3年度実績)

事業主体	支援金交付対象農用地面積 (ha)			支援交付金 (円)			
	田	畑	計	国負担額(1/2)	県負担額(1/4)	市負担額(1/4)	合計
26活動組織	2,074	297	2,371	23,464,917	11,732,457	11,732,460	46,929,834

③ 資源向上支払 (長寿命化) (令和3年度実績)

事業主体	支援金交付対象農用地面積 (ha)			支援交付金 (円)			
	田	畑	計	国負担額(1/2)	県負担額(1/4)	市負担額(1/4)	合計
32活動組織	2,483	296	2,779	35,936,500	17,968,250	17,968,250	71,873,000

(2) 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図る取り組みに対する支援を行った。
令和3年度実績

事業主体	支援金交付対象農用地 面積 (ha)			支援交付金 (円)			
	田	畑	計	国負担額	県負担額	市負担額	合計
12 集落協定	95.7	—	95.7	11,577,761	6,417,019	6,417,027	24,411,807

5 五堰整備事業

山形五堰において農業用水を安定通水させるため、水路に堆積した土砂上げ、老朽化した石積水路の改修、雑草繁茂期の草刈り及び親水広場の改修を行った。

令和3年度実績

- (1) 土砂上げ 4カ所 1,453千円
- (2) 石積水路等の改修 3カ所 817千円
- (3) 御殿堰中央親水広場改修 1,993千円
- (4) 草刈り 2,385千円

6 農業集落排水事業

排水処理基本構想に基づき整備した8地区の農業集落排水処理施設の適切な運営管理を行うため、使用料賦課徴収業務、施設の運転管理委託、修繕工事等を行った。

また、令和6年4月の地方公営企業法適用に向けて、適用移行業務の委託契約を締結し、固定資産台帳の整備等を行った。

(1) 事業の全体概要

- ① 処理区及び集落数 8処理区 18集落
- ② 現況戸数及び人口 1,370戸 3,901人
- ③ 使用料(月額) 一世帯当たり:1,180円 一人当たり:380円 に消費税加算(平成10年4月より)
- ④ 利用組合の協力 事業実施地区毎に、地元の施設利用組合を組織し、利用推進のための啓発や処理施設の環境整備をはじめ、管路の点検等についても協力を得ている。

(2) 事業の実施状況

(令和4年3月末現在)

処理区(集落)	事業期間	総事業費 (事務費含) (千円)	供用開始	定住数	利用数	利用率(%)
				戸数 人口	戸数 人口	戸数 人口
宝沢(上・下宝沢) 870人 L=5,744.0m	昭和62~ 平成元年度	503,990	平成2年 4月1日	223	222	99.6
				650	649	99.8
中里(中里・二本堂・風間) 940人 L=3,420.9m	平成2~ 5年度	735,345	平成5年 11月1日	190	187	98.4
				633	626	98.9
藤沢(常明寺・若木) 580人 L=3,500.6m	平成3~ 7年度	651,869	平成7年 5月1日	132	130	98.5
				504	499	99.0
上野(蔵王上野・堀田) 1,700人 L=11,930.9m	平成4~ 8年度	1,556,087	平成8年 5月1日	232	216	93.1
				891	856	96.1
双葉(七ツ松・荻の窪・礪石) 410人 L=5,452.6m	平成7~ 9年度	751,260	平成10年 4月1日	69	65	94.2
				142	135	95.1
漆房(漆房) 230人 L=2,117.9m	平成9~ 11年度	366,381	平成12年 4月1日	48	48	100.0
				157	157	100.0
山田(蔵王山田) 240人 L=1,950.0m	平成10~ 12年度	405,273	平成13年 4月1日	51	46	90.2
				119	107	89.9
東山(上・下東山・切畑・高沢) 2,390人 L=16,060.0m	平成8~ 15年度	2,081,460	平成15年 4月1日	499	444	89.0
				1,508	1,374	91.1
計		7,051,665		1,444 4,604	1,358 4,403	94.0 95.6

※定住数、利用数には流入(換算)数を含む。



7 地籍調査事業

(1) 事業目的

現在、登記所に備え付けられている公図の多くは、土地の境界が不明確であったり、測量の精度が一定でないこと等により、実際の土地と土地登記簿の内容が正確に合っていないことが少なくない。

本事業は、これらを解消するため、国土調査法に基づき一筆ごとの土地について、その所有者・地番・地目・境界を調査し、面積について測量を行い、その結果を基に、現地に合った新しい地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成し、公図や土地登記簿を整備するものである。

(2) 事業計画

- ①調査面積 239.46km²（全体面積の約63%）
- ②調査期間 24年間の予定（平成18年度～令和11年度）
- ③負担割合 国：50% 県：25% 市：25%

(3) 令和3年度実績

調査地区	実施内容	調査面積	筆数	所有者数	事業費(千円)
十文字、下樫沢、西原一丁目、西原二丁目	令和3年度 一筆地調査（立会調査）、一筆地測量	0.11km ²	478筆	177人	50,817
十文字、飯塚町、下樫沢、志戸田等	令和2年度調査分 一筆地測量、地籍図及び地籍簿の作成・閲覧	0.91km ²	2,955筆	978人	
漆山、青柳、十文字等	平成30年度、令和元年度調査分 認証請求	0.35km ²	1,283筆	382人	

8 スtockマネジメント事業

老朽化した農業水利施設の防災減災の向上と長寿命化を図るための県営事業に対する負担金の支出を行った。

令和3年度実績

地区名	関係土地改良区等	事業内容	事業費(千円)	市負担額(千円)	負担割合
南 山 形	最上川中流 土地改良区	排水路工	370,000	51,800	国 55% 県 31% 市 14%

9 有害鳥獣等食害対策事業

有害鳥獣による農作物の被害防止のため、防護網の支給、防護柵設置、駆除を実施する団体への助成等を行い、農作物の安定生産を図った。

(1) カモシカ食害防護網設置事業

特別天然記念物であるカモシカによる農作物の食害防止のため、防護網の設置を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	受益戸数 受益面積	事業内容	事業費 (千円)	負担区分(千円)		
				国補助額	県補助額	市補助額
山形地区カモシカ 対策連絡協議会	30戸 4.6ha	食害防止用網の支給 5.80km分、116巻	2,099	1,399	—	700

(2) 農作物有害鳥獣対策事業

有害鳥獣被害防止のための設備導入を行う個人に対し助成した。

令和3年度実績

事業実施主体	受益戸数	事業内容	事業費 (千円)	県補助額 (千円)	市補助額 (千円)
農業者（個人）	設備導入 26戸	クマ・イノシシ・サル被害防止電 気柵の導入	4,218	1,042	1,042

(3) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会事業

ニホンザルによる農作物被害を軽減するため、宮城・福島・山形県に跨る広域地域を拠点とする関係機関で構成される広域協議会に加盟し、効果的かつ効率的な被害防止対策の実践、被害防止体制の充実・強化を図った。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費(千円)
南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンザル用テレメトリ受発信機の導入 ・ニホンザル用GPSシステムの導入 ・生息状況調査 ・捕獲用檻の購入 ・追い払い活動 	10,988

(4) 山形市有害鳥獣被害防止対策協議会事業

有害鳥獣（イノシシ、クマ等）による農作物被害を軽減するため、鳥獣被害対策実施隊による捕獲による個体数調整活動や捕獲に伴う報奨金、狩猟免許の新規取得支援に対して助成を行った。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費(千円)
山形市有害鳥獣被害防止対策協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害現場確認 ・実施隊による捕獲活動 (ワナの設置、ワナの見回り含む) ・カラス、ムクドリ一斉捕獲 ・狩猟免許新規取得支援 ・追い払い花火の購入 ・捕獲檻、わなの購入 	36,300

(5) 山形猟友会運営費補助金

野生鳥獣による人的被害の恐れがある緊急時に安全かつ迅速に有害鳥獣を捕獲し、被害を防ぐため、山形猟友会員の技術保持活動に対して助成した。

令和3年度実績

事業実施主体	事業内容	事業費(千円)	市補助額(千円)
山形猟友会	団体における射撃訓練等にあたる活動	831	500



林

業（森林整備課）

1 民有林対策

森林所有者の高齢化・不在化等により適切な森林整備が行われていない箇所が増加しているなか、近年、森林の有する多面的機能の持続的な発揮や、地球温暖化防止対策における二酸化炭素の吸収・固定源として、森林の果たす役割に期待が高まっている。

本市においても人工林の約7割を占める林分が標準伐期に達しており利用可能な林分構成となっていることから、育てる森林から利用する森林への転換を図り、間伐の促進や森林資源の有効活用など、森林・林業再生に向けた取り組みを推進していく。

(1) 森林経営管理推進事業

新たな森林経営管理制度の創設に伴い、その財源として国から森林環境譲与税が譲与されており、森林経営管理推進基金を創設し森林整備及びその促進にかかる事業に取り組んでいる。

令和3年度は、森林経営管理制度により、林業経営に適さない森林及び、林業経営に適した森林であるが再委託できなかった森林についての整備手法を検討するため、「山形市森林経営管理事業実施方針」を策定した。

また、モデル地区において、再委託できなかった森林を上記方針に基づき現地調査等を行い管理計画を作成し整理伐（被圧木伐採及びつる切り等）を実施した。

事業内容	事業費（千円）
山形市森林経営管理事業実施方針作成	1,298
モデル地区管理計画作成	1,287
整理伐（2ha）	550
計	3,135

また、山形市・上市市・山辺町・中山町及び山形地方森林組合で組織する山形地方森林林業活性化協議会に負担金3,016千円を支出しており、山形市においては、第2回東沢（上宝沢）地区意向調査やレーザー測量研修会が実施されたほか、普及啓発のため薪づくり体験・チェーンソー講習会が実施されている。

(2) 民有林間伐等促進事業費補助金

森林組合が森林経営計画に基づき施業の集約化を行い、国庫補助事業で間伐等を実施した事業費に対し市独自の嵩上げ補助を行い、民有林内における間伐等の森林施業促進を図った。

令和3年度実績

施業箇所	間伐(ha)	森林作業道(m)	補助金額(千円)
大字門伝	14.00	-	1,371
大字下東山	6.00	1,235	1,409
大字柏倉	3.32	600	1,165
計	23.32	1,835	3,945

(3) 森林整備地域活動支援交付金

森林組合が森林施業の集約化に必要な森林境界の確認・測量に要した経費に対して支援を行った。

令和3年度実績

実施箇所	数量	補助金（千円）
大字上東山	森林境界の明確化 5.00ha	225

(4) 地域林業振興対策

山形市内の9の生産森林組合で組織している山形市生産森林組合連絡協議会に550千円を補助金として交付し、生産森林組合の活動を支援した。

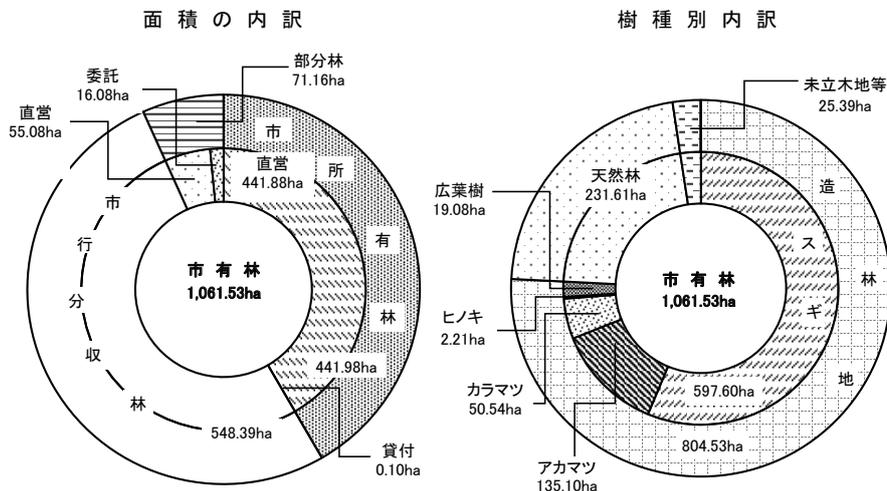
2 市有林対策

森林資源の造成と自然環境の保全とともに、本市の基本財産造成を図るため、国庫補助事業等を活用して、市有林の下刈り間伐等の森林施業を行った。

令和3年度事業実績

市有林名	実施箇所 (大字)	事業の 種類	事業量	事業費 (千円)	素材収入 (千円)
長峯 233ホ	神尾	下刈り	3.35ha	797	—
板橋山	門伝	素材売払	1.15ha	—	2,630
		下刈り	1.58ha	382	—
伝四郎山	上宝沢	下刈り	1.68ha	399	—
板橋 1933-14	山辺町 畑谷	下刈り	0.38ha	83	—
丸石田	平清水	間伐	6.14ha	2,363	—
		作業道	646m	1,575	—
		集運材	32 m ³	293	—
		施業地調査	6.14ha	314	—
		間伐材売払	6.14ha	—	896
生膾板倉山	若木	間伐	2.10ha	1,389	—
		作業道	420m	1,004	—
		集運材	19 m ³	172	—
		施業地調査	2.10ha	167	—
		間伐材売払	2.10ha	—	2,011
大沼 1991-2	山辺町 畑谷	間伐	1.09 ha	846	—
		施業地調査	1.09 ha	86	—
雀打場	上反田	境界刈り	0.25ha	132	—
潤坂	土坂				
中沢山	上東山				
ヒトロ	滑川	材積調査	83ha	715	—
合 計				10,717	5,537

山形市有林の面積(令和4年3月31日現在)



3 林野保護対策

(1) 普通共用林野事業

「国有林野の管理経営に関する法律」第18条により、市民が国有林野内で山菜等を採取できるように、市と森林管理署が市域東部の国有林について契約を締結している。(契約期間：令和2年度から6年度の5年間)

市では「山形市普通共用林野の運営に関する条例」を制定し、これに基づき、関係地区住民1,767戸に対し共用者証を交付し、これ以外の市民には一地区(山寺、高瀬、東沢、滝山、蔵王)500円(1年間)の入林許可証交付手数料を徴し許可を与え、利用の場として開放している。



(2) 山火事防止

森林等における火災の未然防止のため、特に春の乾燥期に山菜採取者など入山者に対して、山火事防止について周知を図り、森林火災の防止に努めている。

また、森林等の火入れをする場合の措置として昭和59年9月に「森林等の火入れに関する条例及び規則」を制定しており、生産森林組合、その他林業団体等に周知し、山火事防止に努めている。

(3) 森林病害虫等防除事業

① 松くい虫被害対策

昭和53年12月に山形市小白川地内山、沼の辺山等、周辺の山林において、マツノザイセンチュウによるアカマツの被害木が発見された。昭和54年度より被害拡大防止を図るため、高度公益機能松林等で構成される防除団地内の被害木を伐倒、玉切りしたものをビニールで被覆し、殺虫剤を注入して駆除している。また、景勝地である山寺立石寺周辺の健全木に松枯れ防止薬剤を樹幹注入し、松枯れを予防している。さらに、登山に支障となる枯損木を伐倒処理している。

令和3年度実績

区 分	施業箇所	本 数(本)	材 積(m ³)	事業費(千円)
伐倒・くん蒸処理(衛生伐)	大字山寺	1	1	3,700
	大字平清水	32	32	
	大字岩波	30	25	
	大字大森	156	63	
	蔵王成沢	7	11	
	大字小白川	27	12	
	大字松原	16	8	
	大字門伝	8	3	
	計	277	155	
樹 幹 注 入	山寺(立石寺)	37	—	525
枯 損 木 伐 倒	大字岩波	5	—	460
	大字平清水	2		
	計	7		

② ナラ枯れ被害対策

公共性が高く、特に保全すべきナラ林を特定ナラ林として、面白山、山寺、蔵王温泉地区を指定している。令和3年度は、面白山地区において、被害拡大防止のため予防剤注入による防除を行った。

令和3年度実績

区 分	施業箇所	ナラ本数(本)	事業費(千円)
予防剤注入	面白山	257	680

4 緑化推進対策

(1) 緑の募金運動

全国的な国土緑化運動の一環として、緑の募金運動を実施し、市民一般の緑に対する理解と認識を高め、合わせてその成果によって緑化の推進と森林の整備等を行い、住みよい生活環境づくりを図っている。

令和3年度 募 金 額 1,880,949円 強化期間 令和3年4月15日～令和3年5月14日

(2) 緑の少年団育成事業

昭和50年10月山形県緑の少年団の結成と同時に、山形市緑の少年団も結成、さらに山形市緑の少年団運営協議会を発足し、事業運営にあたっている。

令和3年度の団員は、山形市立東沢小学校・蔵王第三小学校・みはらしの丘小学校・西山形小学校で、4団体、計246名であった。校内緑化推進活動、自然環境学習等の活動を行った。

5 林道事業

林道(路網)は、木材を森林から製材工場までの搬出や、間伐、枝打ち等、林業生産活動を効率的に行うための基盤であり、森林の多面的機能を持続的に発揮していくために必要不可欠な施設である。また、森林の総合利用の推進、山村の生活環境整備、地域産業の振興等にとっても重要な役割を果たしていることから、新規林道等の開設、既設林道等の改良、補修、維持管理等の事業に取り組んでいる。

(1) 民有林林道整備事業

国庫補助事業で林業専用道の整備を実施した。

(継続) 林業専用道仁田ノ沢三号線(延長L=2,380m 幅員W=3.5m)

令和3年度実績

実施箇所	事業内容	事業費(千円)
大字柏倉	工事L=633m	27,737

(2) 民有林林道橋りょう点検診断・保全整備事業

山形市林道施設長寿命化計画に基づき、国庫補助事業を活用し、設計委託及び修繕工事等を実施した。

令和3年度実績

(設計委託)

橋梁名	実施箇所	事業費(千円)
宇津野一号橋	大字新山	6,688
面白山二号橋	大字山寺	
山形市林道施設長寿命化計画見直し等	市内一円	1,143
計		7,831

(修繕工事)

橋梁名	実施箇所	事業費(千円)
千手院一号橋	大字山寺	3,454
千手院二号橋	大字山寺	1,265
計		4,719

(3) 民有林林道管理補修事業

林道、林業専用道等の通行の安全と円滑な走行を図るため、路面整正、路肩表示杭等の安全施設の設置を行うとともに、災害を未然に防止するために、側溝、横断開渠、暗渠の土砂上げ等を実施した。

また、平成20年度から、林道等の維持管理を町内会や生産森林組合など市民が組織する団体と協働で行い、よりきめ細かい管理体制を構築している。

① 機械借上(建設機械の年間単価契約)による路面整正等

令和3年度実績

区分	路線名	事業費(千円)
林道、林業専用道等	早坂上線ほか39路線	14,414

② 林道補修工事

令和3年度実績

区分	路線名	事業費(千円)
林道、林業専用道等	三百坊線ほか4路線	5,219

① 里山さわやかロード事業

山形市管理の林道等のうち51路線を対象に、草刈りや側溝の通水確保等の軽微な維持管理を、地域住民と協働で行い、林道被災の早期発見や、林道沿線の環境美化及び森林に対する意識向上に努めた。

[市民の団体の役割]

林道の見回り、路肩の草刈、側溝の通水確保、美化等の軽微な作業

[山形市の役割]

路肩や法面の崩落補修、路面の整備、土砂による水路や暗渠の閉塞解消等、重機を使用する必要がある作業

令和3年度実績

実施団体	事業費(千円)
29	1,497

(4) 林道災害復旧事業

令和元年台風19号及び令和2年7月豪雨により法面・路肩崩落及び路面洗掘等の被害を受けた林道の復旧工事を実施した。

令和3年度実績

(災害復旧工事)

路線名	実施箇所	事業内容	事業費(千円)
キワダ山線ほか7路線	大字村木沢ほか	大型フトン竈工、植生シート工、コンクリートブロック積工等	46,975

(機械借上げによる路面整正等)

路線名	実施箇所	事業内容	事業費(千円)
舟ヶ沢第一線	大字下東山	路面整正、側溝土砂上げ	725



山形市管内の林道等の現況

(令和4年3月31日現在)

管理区分	種類	路線数	延長 (m)	備考
山形市	林道	68	133,312	
	併用林道	4	3,945	全延長13,325m
	林業専用道	48	39,698	
	高速道路側道	30	6,464	
	計	150	183,419	
山形森林管理署	林道	4	7,930	
	併用林道	6	20,140	
山形県	林道	4	12,283	
合計		164	223,772	

6 治山事業

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から市民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図る極めて重要な国土保全政策の一つであり、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るものである。

(1) 民有林治山事業（市単独事業）

民有林内において、保全対象戸数や事業費等が県事業の採択基準に合致しない、小規模な土砂流出・山腹崩壊等で緊急性が高く放置できないものについて、市単独で治山工事を実施した。

また、平成21年度から、町内会等市民が組織する団体と協働で溪流の整備を実施し、山地災害の未然防止に努めている。

① 治山工事

令和3年度実績

実施箇所	事業内容	事業費(千円)
大字下東山	竈工	1,051
大字上宝沢	竈工	547
計		1,598

② 荒廃溪流整備事業

溪流の荒廃が山地災害の要因のひとつとなっていることから、町内会等と協働で、不安定木や倒木の除去を行い、山地災害の未然防止に努めた。

[市民の団体の役割]

土地所有者との調整、不安定木の伐採・搬出等の除去作業

[山形市の役割]

除去作業のうち、作業が困難な箇所を請負工事により実施

令和3年度実績

実施箇所	事業費(千円)
大字上東山	495
大字柏倉	440
計	935

(2) 国・県治山事業

治山事業は、保安施設事業及び保安林等の存する地域における地すべり防止工事等に関する事業で、国が実施するもの及び都道府県又は都道府県知事が実施し、かつ、これに要する費用の一部を国が負担し、又は補助するものと定義されている。

そのため本市では、地元要望等をまとめ、国、県へ事業を要望し、保安林でない森林にあつては、森林所有者から保安林指定同意書と工事承諾書の取りまとめ、その他、工事に係る用地等の確保、地元住民、関係機関との連絡調整等を行い、円滑、迅速な事業遂行に寄与している。

令和3年度実績

事業主体	事業名	地区名	工種	事業費(千円)
村山総合支庁森林整備課	龍山治山事業	蔵王温泉	集水井柵設置 地すべり調査	4,156
	滝ノ山復旧治山事業	大字長谷堂	測量設計	5,647

7 市産材オリンピックレガシー活用事業

東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連施設である選手村ビレッジプラザの建築用材として提供した市産材が大会終了後に返却された。その木材をオリンピックレガシーとして活用するため製材加工等を行った。

令和3年度実績

- 1 オリピックレガシー市産材運搬・管理及び製材加工 4,763千円
 - (1)レガシー材の運搬管理
 - (2)製材加工 ①西山形コミュニティーセンターへのモニュメント材
②西山形小学校への建築材
③山形駅東西自由通路壁面材
- 2 オリピックレガシーモニュメント解説プレート作成 220千円
- 3 山形駅東西自由通路等木質化設計業務委託 2,412千円

8 里山共生の森整備事業

ニュータウン周辺環境保全林及び西蔵王市民の森林(もり)を里山として整備するもので、保健休養・学習の場として市民との共生を図る森林づくりを行っている。

令和3年度実績

施業箇所	事業の種類	数量	事業費(千円)
ニュータウン周辺環境保全林	下刈り	4.50ha	1,183
	クズ処理	1,500本	
	補植(広葉樹)	41本	255
西蔵王市民の森林	下刈り	3.17ha	762
計			2,200

9 木質バイオマスの需要拡大支援事業

ペレット・薪ストーブ利用拡大支援事業

平成19年度から実施している事業で、環境にやさしいペレットストーブ等を普及推進することにより、木質バイオマスエネルギーの需要拡大と、環境に配慮した暮らしに関する市民意識の高揚を図り、もって地球温暖化防止に寄与することを目的としている。平成22年度からは薪ストーブ設置も補助対象に加え、森林資源の更なる利活用の推進を図っている。

令和3年度実績

種類	台数	補助金(千円)
ペレットストーブ	5台	500
薪ストーブ	10台	1,000
計	15台	1,500

10 やまがた緑環境事業

山形県みどり環境交付金を活用し、豊かな森づくり活動、森や自然とのふれあい活動、木に親しむ環境づくりを実施した。また、里山林整備事業により、人と野生動物が共存できるよう緩衝帯(バッファゾーン)の整備や幹線道路沿いで著しく景観が悪化している森林の景観整備を実施している。

(1) みどり環境交付金事業

令和3年度実績

事業項目	事業内容	事業費
豊かな森づくり活動	みんなの森づくり活動、みはらしの丘環境保全林里山整備、野生動物との共生林保全活動	9,099
森や自然とのふれあい活動	森林環境学習の場の整備、森林に親しむ学習会	
木に親しむ環境づくり	小・中学校への市産材の普及啓発、児童遊園への木質チップ普及活動、公共施設の木質化、間伐材を利活用した森林環境学習	

(2) 里山共存林整備事業(バッファゾーン)

令和3年度実績

作業内容	施業箇所	事業量(ha)	事業費(千円)
間伐・下刈り	大字下東山、上東山	1.92	1,644

(3) 里山林景観整備事業

令和3年度実績

作業内容	施業箇所	事業量(ha)	事業費(千円)
間伐・下刈り	大字門伝	0.10	3,245



11 市産材利用拡大促進事業

市産材の利用拡大を通じ、森林の適正な整備や木材関連産業の活性化等に資するよう市産材を8㎡以上使用した新築戸建て住宅に対して1戸あたり50万円の補助を行った。移住・定住、子育て支援対策として、移住、子育て、三世帯等世帯で一定以上の市産材を使用した場合に最大80万円の補助となる加算制度を設けている。

また、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組みとして、上記加算に該当しない場合で市産材を12㎡以上使用した場合をゼロカーボンシティ貢献枠とし1戸あたり60万円の補助を行った。

令和3年度実績

区 分	補助件数(戸)	補助金(千円)	備考
一般枠	24	12,800	加算該当件数 移住世帯3戸、子育て世帯2戸、三世帯等世帯3戸
ゼロカーボンシティ貢献枠	5	3,000	
合 計	29	15,800	

12 市産材ブランド化推進事業

(1) 山形市産材ブランド化検討委員会

市産材のブランド化による市産材の利用拡大を図るため、普及促進における現状と課題、ブランド化に向けた新たな施策等について森林林業関係者と意見交換を行った。

(2) 木育推進事業

木との触れ合いを通して木材に対する親しみや木の文化への理化学促進、森林整備への関心の向上を図るため、1歳6か月児健診時に幼児に市産材を使用した積木の贈呈を行った。

令和3年度実績

贈呈件数 1,764件

積木作製業務委託 6,600千円

公 設 地 方 卸 売 市 場

当市場は、昭和50年4月1日に青果物及び水産物を取り扱う山形市中央卸売市場として開設され、生鮮食料品等を安定的かつ効率的に集荷し、市民に供給する基幹的流通機能と公正な取引による適正な価格形成機能を果たし、市民生活に寄与してきた。

なお、さらなる市場の活性化を図るため平成22年4月1日に公設の地方卸売市場に転換したが、引き続き安全安心で新鮮な生鮮食料品を市民に供給していく。

1 施 設 概 要

場 所	山形市大字漆山1420番地		
用地面積	115,634.64㎡		
施 設	卸 売 場	11,833㎡	(青果 8,314㎡, 水産 3,519㎡)
	仲 卸 売 場	3,761㎡	(青果 1,914㎡, 水産 1,847㎡)
	買荷保管積込所	2,096㎡	(青果 1,336㎡, 水産 760㎡)
	冷 蔵 庫	2,556㎡	(庫内有効面積 1,286㎡)
	倉 庫	945㎡	(青果 687㎡, 水産 258㎡)
	関係業者事務所	3,424㎡	
	関連商品売場	2,658㎡	
	管 理 事 務 所	1,395㎡	
	駐 車 場	42,514㎡	1,540台収容
総事業費	4,272,550千円		

2 市 場 の 業 者 (令和4年3月31日現在)

卸売業者	青果物	1社	水産物	2社
仲卸業者	〃	7社	〃	4社
売買参加者	〃	211人	〃	105人
買出人	〃	255人	〃	345人
関連事業者	20人(社)			

売買参加者及び買出人の登録者数

	売 買 参 加 者		買 出 人	
	青 果 物	水 産 物	青 果 物	水 産 物
山形市	77	46	131	164
山形市外	134	59	124	181
合 計	211	105	255	345

3 令和3年青果物取扱の概況 (1月～12月)

(1) 青果物の取扱概況

本年の開市日数は253日、総入荷量は27,257,630kgで前年対比は95.4%、総取扱金額は7,113,053,499円で前年対比は92.3%であった。

一日平均入荷量は107,738kgで、最高は8月7日の207,110kg、最低は4月6日の9,888kgであった。

また、一日平均取扱金額は28,114,836円であり、最高は6月24日の82,388,510円、最低は4月13日の11,717,951円であった。

種別入荷量は、野菜が19,308,918kgで前年対比98.1%、果実は7,213,193kgで前年対比89.0%、鳥卵・加工品・その他は735,519kgで前年対比95.2%であった。

また、種別取扱金額については、野菜が4,434,293,173円で前年対比93.5%、果実は2,468,057,619円で前年対比89.6%、鳥卵・加工品・その他は、210,702,707円で前年対比99.5%となっている。



(2) 青果物取扱数量ベスト3

(単位：t、%)

順位	野菜			県内産 比率	果実			県内産 比率
	品名	数量	比率		品名	数量	比率	
1	キャベツ	3,035	15.7	8.6	すいか	1,216	16.9	91.1
2	きゅうり	2,015	10.4	84.8	バナナ	1,109	15.4	-
3	たまねぎ	1,995	10.3	1.7	みかん	1,055	14.6	-

(3) 青果物取扱金額ベスト3

(単位：百万円、%)

順位	野菜			県内産 比率	果実			県内産 比率
	品名	金額	比率		品名	金額	比率	
1	きゅうり	539	12.1	79.8	佐藤錦	334	13.5	100.0
2	キャベツ	224	5.1	7.6	ふじ	240	9.7	91.7
3	たまねぎ	224	5.0	1.5	すいか	237	9.6	88.1

(4) 青果物入荷産地ベスト3

(単位：%)

順位	野菜				果実			
	数量		金額		数量		金額	
	産地名	比率	産地名	比率	産地名	比率	産地名	比率
1	山形県	33.1	山形県	42.9	山形県	50.5	山形県	59.2
2	千葉県	16.1	北海道	8.8	フィリピン	14.3	フィリピン	6.9
3	北海道	12.9	茨城県	6.8	愛媛県	8.5	愛媛県	6.8

(5) kg当りの平均価格

本年の総平均価格は261円で前年対比96.7%、種別ごとにみると野菜は230円で前年対比95.4%、果実は342円で前年対比100.6%、鳥卵・加工品・その他は286円で前年対比104.4%となっている。

4 令和3年水産物取扱の概況（1月～12月）

(1) 水産物の取扱概況

本年の開市日数は256日、総入荷量は3,845,359kgで前年対比は96.2%、総取扱金額は4,412,447,268円で前年対比は100.3%であった。

一日平均入荷量は15,021kgで、最高は12月23日の41,150kg、最低は3月31日の5,746kgであった。

また、一日平均取扱金額は17,236,122円であり、最高は12月23日の46,742,673円、最低は3月31日の5,114,904円であった。

種別入荷量は、鮮魚が1,436,605kgで前年対比94.7%、冷凍魚は610,316kgで前年対比110.4%、塩干・加工品・その他は1,798,438kgで前年対比93.4%であった。

また、種別取扱金額については、鮮魚が1,745,720,313円で前年対比99.2%、冷凍魚は762,451,801円で前年対比110.2%、塩干・加工品・その他は1,904,275,154円で前年対比97.7%となっている。

(2) 水産物取扱数量ベスト3

(単位：t、%)

順位	鮮魚			冷凍魚			塩干・加工品・その他		
	品名	数量	比率	品名	数量	比率	品名	数量	比率
1	めばちまぐろ	116	8.1	冷凍さけ	99	16.2	練り製品	287	15.9
2	かつお	102	7.1	冷凍えび	70	11.5	惣菜品	202	11.2
3	本まぐろ	77	5.4	冷凍いか	53	8.6	塩さけ	178	9.9

(3) 水産物取扱金額ベスト3

(単位：百万円、%)

順位	鮮魚			冷凍魚			塩干・加工品・その他		
	品名	金額	比率	品名	金額	比率	品名	金額	比率
1	本まぐろ	230	13.2	冷凍えび	119	15.6	筋子	238	12.5
2	めばちまぐろ	186	10.6	冷凍さけ	86	11.3	塩さけ	200	10.5
3	冷凍まぐろ	140	8.0	冷凍いか	59	7.7	珍味	188	9.9

(4) 水産物取扱金額出荷地ベスト3

(単位：百万円、%)

順位	鮮魚			冷凍魚			塩干・加工品・その他		
	出荷地名	金額	比率	出荷地名	金額	比率	出荷地名	金額	比率
1	外国産	534	30.6	外国産	402	52.7	外国産	1,067	56.0
2	北海道	191	10.9	宮城県	118	15.4	宮城県	171	9.0
3	宮城県	162	9.3	東京都	77	10.2	北海道	117	6.2

(5) kg当り平均価格

本年の総平均価格は1,147円で前年対比104.2%、種別ごとにみると鮮魚は1,215円で前年対比104.7%、冷凍魚は1,249円で前年対比99.8%、塩干・加工品・その他は1,059円で前年対比104.6%となっている。

5 年次別取扱高推移表

(各欄の上段数量、下段金額/単位: kg、円、日、%)

青 果 物	令 和 3 年		令 和 2 年	
	開 市 日 数	前年比	開 市 日 数	前年比
開 市 日 数	253	99.6	254	99.6
総 計	27,257,630	95.4	28,563,065	100.3
	7,113,053,499	92.3	7,709,201,203	105.7
一 日 平 均 取 扱 高	107,738	95.8	112,453	100.7
	28,114,836	92.6	30,351,186	106.1
平 均 価 格	261	96.7	270	105.5
野 菜	19,308,918	98.1	19,688,690	99.7
	4,434,293,173	93.5	4,742,705,967	102.5
平 均 価 格	230	95.4	241	103.0
果 実	7,213,193	89.0	8,102,015	102.4
	2,468,057,619	89.6	2,754,690,443	112.5
平 均 価 格	342	100.6	340	110.0
鳥卵・加工品・その他	735,519	95.2	772,360	94.1
	210,702,707	99.5	211,804,793	95.6
平 均 価 格	286	104.4	274	101.5

(各欄の上段数量、下段金額/単位: kg、円、日、%)

水 産 物	令 和 3 年		令 和 2 年	
	開 市 日 数	前年比	開 市 日 数	前年比
開 市 日 数	256	99.6	257	99.6
総 計	3,845,359	96.2	3,995,533	89.7
	4,412,447,268	100.3	4,400,716,244	87.3
一 日 平 均 取 扱 高	15,021	96.6	15,547	90.1
	17,236,122	100.7	17,123,410	87.7
平 均 価 格	1,147	104.2	1,101	97.3
鮮 魚	1,436,605	94.7	1,517,288	83.9
	1,745,720,313	99.2	1,760,330,832	83.6
平 均 価 格	1,215	104.7	1,160	99.7
冷 凍 魚	610,316	110.4	552,741	97.8
	762,451,801	110.2	691,798,279	89.2
平 均 価 格	1,249	99.8	1,252	91.2
塩干・加工品・その他	1,798,438	93.4	1,925,504	92.6
	1,904,275,154	97.7	1,948,587,133	90.2
平 均 価 格	1,059	104.6	1,012	97.5

